| 番号 | 65 | 松浦川改修竣工之碑 | | |
|---|---|---|---|---|
| 所在地 | | 伊万里市大川町駒鳴 | | |
| 災害別 | | 昭和２３年（１９４８）、２８年（１９５３）　水害 | | |
| 目的別 | | 記念碑 | 建立年 | 平成１８年４月 |
| 特記事項 | | 駒鳴地区捷水路完成記念碑の木柱が脇に建つ（平成１６年２月２９日） | | |

松浦川は、かつて大川町石坂付近で大きく蛇行し、川幅の狭い渓谷地帯を抜け相知町佐里へと流れていた。このため大川町では松浦川の氾濫により昭和２３年、昭和２８年、昭和４２年、平成２年などたびたび水害に襲われおり、特に昭和２３年９月の水害では駒鳴駅が水没するなど大きな被害を受けた。この時の豪雨を記した「大洪水記念碑」が大川野宿に建てられている。現在では石坂の蛇行地点がショートカットされ、旧河川は平成２８年に「ウォーターフロントこまなき」として整備され、多くの人々に親しまれている。

「松浦川改修　平成十六年度完成　大水害昭和二十三年　昭和二十八年　幾多の災害を繰り返した　松浦川の氾濫を無くすべく流域住民の要望に区内を二重に屈折して流れている箇所を避けて　新たに山林等を巾九十米長さ二百五十米に及ぶ掘削を行い通水を良くし災害を無くす為の大型改良工事に着手　下流の山ノ神橋昭和五十二年施工　捷水路工事の為　切断された市道を集約された県道駒鳴線を建設省と県により地区住民の総意により昭和五十七年駒鳴大橋完成　　天領に　うぐい帰るや　春嵐　　文彦　」

（裏面）「平成十八年四月吉日建立　駒鳴区民一同　寄附者　芳野文彦　一金五拾萬円　平山幸雄謹書　石工　波多津町　井手亥祇雄」

駒鳴地区捷水路完成記念碑

平成１６年２月２９日

国土地理院電子国土 web